

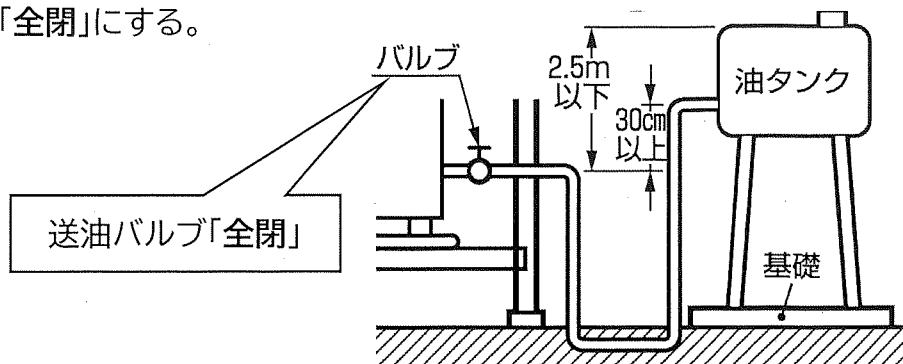
# 送油管の空気を抜く方法

## 燃料切れの注意

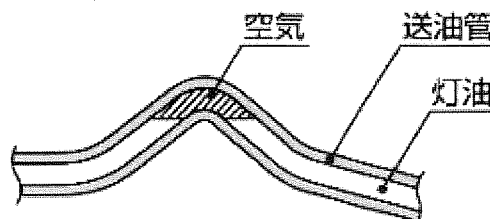
- 送油管の途中が山形になったり、もつれたりしていますと、送油管の中に空気がたまって灯油が流れないためにストーブは「給油ランプ」が「点滅」して運転しません。

初めて油タンクに灯油を入れた後などは下記の手順でご処置ください。

製品の手前にある送油バルブを「全閉」にする。



灯油が流れやすい様に送油管が山形(高低)になっていれば平らにする。



ストーブ本体との接続部を取りはずし、取りはずした送油管の先端をバケツなど灯油をためることができる容器に入れはずれないように固定する。

作業としては、2名で作業したほうがやり易いです。

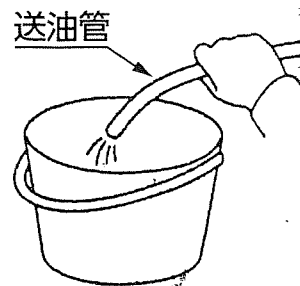
1名の方が送油管を持ち、もう1名のかたが送油バルブを閉めてもらうと作業がし易いです。

灯油を初めて油タンクに入れた場合は、下表「定油面器迄の到達時間」を参考(時間は目安となります)にしてください。

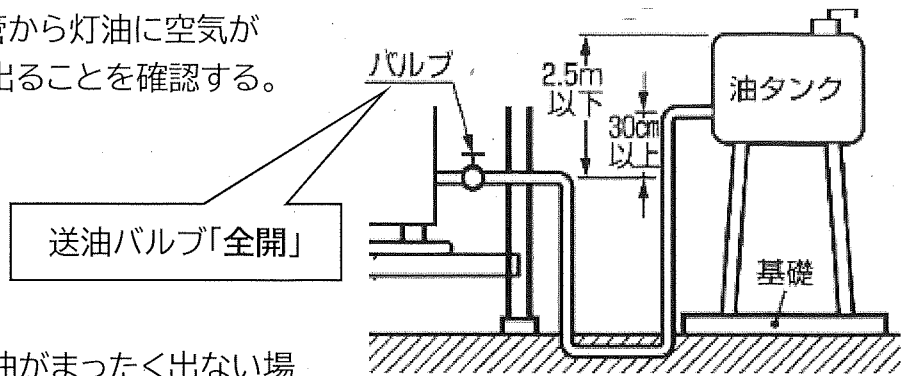
## 参考 定油面器迄の到達時間

送油管の長さ		約2.5m	約10m
落差			
30cm		約60秒	約150秒
30cm	途中に段差(約10cm)有り	約60秒	×

×……到達せず



送油バルブを「全開」にし、送油管から灯油に空気が混じらない状態で連続して流れ出ることを確認する。



**【注意】**

送油バルブを「全開」にしても灯油がまったく出ない場合は油タンクとストーブ本体との落差(約 30cm必要)がない場合もありますので確認・処置してください。(上記配管図をご確認ください)

確認できたら送油バルブを「全閉」にする。

送油管をストーブ本体に接続する。

送油バルブを「全開」にする。

ストーブ本体の側面にある穴が開いています。

その穴をのぞくと定油面器の赤色のリセットボタンが見えますので下へ1回押してください。

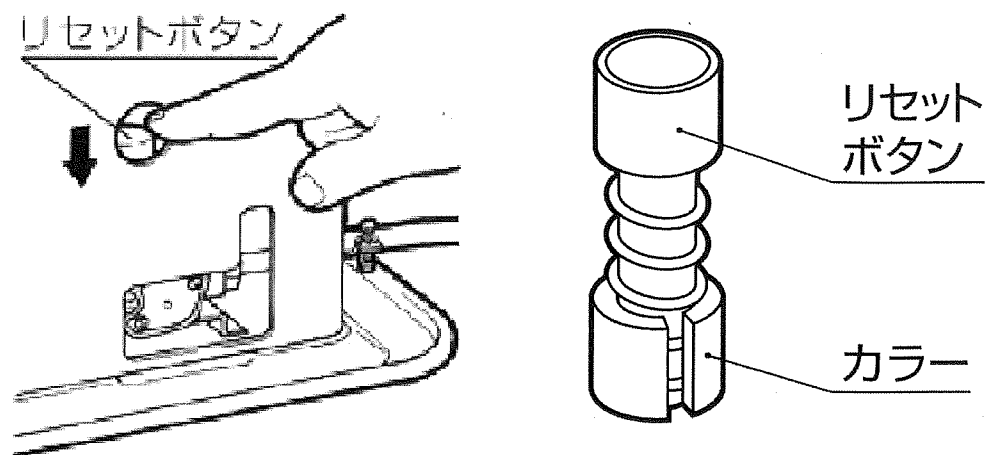
**【注意】**

点火するたびにリセットボタンを押す必要はありません。

シーズン初めや、本体の設置場所を変更したとき、油タンクの灯油を空にしてしまったときなどリセットボタンを1度、押してください。

あと、リセットボタンは5秒以上押し続けたり、カラーをはずして押さないでください。

定油面器から灯油があふれたり、燃焼が継続しないことがあります。



【形状一例】